

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【女子決勝】
No. A-3	Year Month Day Time 2011年6月26日12:00
場所 Place	スポカルイン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB					
聖和学園	<table border="1"> <tr><td>20 1st 19</td></tr> <tr><td>20 2nd 24</td></tr> <tr><td>7 3rd 32</td></tr> <tr><td>19 4th 17</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	20 1st 19	20 2nd 24	7 3rd 32	19 4th 17	OT	山形商業
20 1st 19							
20 2nd 24							
7 3rd 32							
19 4th 17							
OT							
66 ●		92 ○					

主審:Referee
高城 邦 弘 (宮城)
副審:Umpire
成 田 康 平 (青森)
テーブルオフィシャル:Table officials
黒石高女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	青 山 瑠 衣	CAP	3	1	0	0	2	4	×	大 沼 美 琴	CAP	26	0	11	4	2
5	×	早 坂 彰 恵		20	1	7	3	1	5	/	小 林 彩 奈		0	0	0	0	-
6	×	宮 崎 わかな		4	0	2	0	4	6	×	仲 野 由 真		23	0	11	1	3
7	×	高 嶋 晴 香		14	3	2	1	3	7	×	加 藤 臨		8	0	3	2	2
8	/	須 田 悠 理		6	0	2	2	5	8	×	高 橋 美 緒		10	0	5	0	2
9	×	澤 田 七 海		17	0	6	5	2	9	×	鈴 木 智 美		6	0	2	2	2
10		須 田 千 尋		-	-	-	-	0	10	/	黒 田 陽 菜		17	1	6	2	-
11	/	堀 内 玲 那		0	0	0	0	-	11	/	本 木 麗 香		0	0	0	0	-
12		木 村 穂 希		-	-	-	-	0	12		佐 藤 楓		-	-	-	-	0
13		川 村 晴 香		-	-	-	-	0	13		清 野 真 好		-	-	-	-	0
14	/	村 木 愛		0	0	0	0	-	14	/	須 藤 さつき		2	0	1	0	-
15		吉 田 怜 良		-	-	-	-	0	15		安 彦 菜 菜		-	-	-	-	0
16		山 田 海 聖		-	-	-	-	0	16	/	柳 元 麻 里		0	0	0	0	-
17	/	熊 谷 菜 奈		0	0	0	0	-	17		野 原 麻 美		-	-	-	-	0
18	/	島 本 悠 加		2	0	1	0	2	18	/	吉 田 園 佳		0	0	0	0	-
コーチ		小 野 裕							コーチ		吉 田 佳 代						
Aコーチ		黒 田 智 恵 子							Aコーチ		佐 藤 知 穂						
合 計				66	5	20	11	19	合 計				92	1	39	11	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

ディフェンスは互いにマンツーマンでスタートする。立ち上がりのオフェンスは山形商業⑨鈴木のレイアップや④大沼のカットプレーなどで得点。対する聖和学園は⑨澤田のジャンプシュートや④青山の3Pで得点し、一進一退の攻防が続く。残り5分から聖和学園⑤早坂のインサイド、⑦高嶋の3Pなどで14-7とリズムをつかみ、山形商業がタイムアウトを請求。その後、山形商業⑧高橋のバスケットカウントなどで息を吹き返し、⑥仲野のジャンプシュートで16-17と逆転。その後一進一退のまま20-19と聖和学園のリードで終了。

第2Qは序盤から両チーム得点を重ねたが、山形商業のゴール下に果敢に攻め込むプレーや、⑥仲野のジャンプシュートで得点し、聖和学園がタイムアウトを請求。その後も聖和学園はターンオーバーが続く一方、山形商業は確実に加点し、④大沼のバスケットカウントで26-33とリードを広げる。しかし、聖和学園はディフェンスからリズムをつかみ、⑧須田や⑤早坂の3Pで点差を縮め、40-43で前半を終了する。

第3Qの立ち上がりは聖和学園が⑤早坂と⑨澤田のインサイドを起点に攻めるが、ターンオーバーが続き、山形商業⑧高橋のバスケットカウントなどで43-51とリードしたところで聖和学園がタイムアウトを請求。その後も山形商業の勢いが止まらず、④大沼や⑩黒田の連続得点で43-59とリードを広げ、聖和学園がたまために2回目のタイムアウトを請求。その後も聖和学園は山形商業のディフェンスを攻略できず、残り3分で⑨鈴木のフリースローで45-65とついに20点差。その後、聖和学園がオールコートマンツーマンを仕掛けるが、山形商業の勢いは止まらず47-75で第3Qが終了。

第4Qは聖和学園が再びインサイドを起点に攻め追い上げを図るが、山形商業は多彩な攻めから⑩黒田が要所で得点する。聖和学園も⑦高嶋の3Pやオールコートディフェンスで追い上げを図るが、点差は縮まることなく66-92で試合終了。山形商業が4年ぶり3回目の優勝を飾った。

Competition	兼第47回NHK杯大会【女子準決勝】						
NO. A-1	Year	Month	Day	Time			
	2011	年	6	月	26	日	9
場所 Place	スポカリン黒石						



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB
聖和学園	(12 1st 16 25 2nd 15 8 3rd 12 13 4th 14 OT)	柴田女子
58		57
○		●

主審:Referee
北沢 あや子 (岩手)
副審:Umpire
小田中 涼子 (岩手)
テーブルオフィシャル:Table officials
黒石商業バスケットボール部

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	青山	瑠衣 CAP	7	1	2	0	3	4	/	中野渡	唯	3	1	0	0	0
5	×	早坂	彰恵	20	0	10	0	3	5	×	関	有佑子 CAP	1	0	0	1	0
6	×	宮崎	わかな	7	0	3	1	2	6	/	牧野	美樹	0	0	0	0	0
7	×	高嶋	晴香	8	2	1	0	0	7	/	川崎	望美	0	0	0	0	0
8	/	須田	悠理	0	0	0	0	1	8		相澤	真美	-	-	-	-	0
9	×	澤田	七海	16	0	8	0	4	9	×	成田	あゆみ	19	0	8	3	2
10		須田	千尋	-	-	-	-	0	10		武石	華菜子	-	-	-	-	0
11	/	堀内	玲那	0	0	0	0	2	11		南	まゆ美	-	-	-	-	0
12		木村	穂希	-	-	-	-	0	12		工藤	可奈子	-	-	-	-	0
13		川村	晴香	-	-	-	-	0	13	×	笹野	葉月	4	0	2	0	3
14		村木	愛	-	-	-	-	0	14	×	中村	優花	18	0	6	6	2
15	/	吉田	怜良	0	0	0	0	0	15		斉藤	莉央	-	-	-	-	0
16		山田	海聖	-	-	-	-	0	16		山中	星来	-	-	-	-	0
17		熊谷	菜奈	-	-	-	-	0	17	×	山形	美桜	12	2	3	0	1
18	/	島本	悠加	0	0	0	0	0	18		松長	美香子	-	-	-	-	0
コーチ		小野	裕						コーチ		小野	尚樹					
Aコーチ		黒田	智恵子						Aコーチ		中村	光宏					
合計				58	3	24	1	15	合計				57	3	19	10	8

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合の出だし、両チームともなかなか得点がないところに、聖和高校⑦高嶋の3Pシュートが決まる。その後すぐ柴田高校の反撃が始まり、⑨成田のゴール下の1対1でカウントワンスローを決める。聖和高校はベンチからの指示もあり、⑤早坂のポストプレイやカットインからオフェンスを組み立てる。一方柴田高校は、⑭中村にボールを持たせ、3ポイントやハイポストからのジャンプシュートを連続して決める。両者ディフェンスの強さに苦しみ、聖和高校12点、柴田高校16点のロースコアで第1Qを終える。

第2Q開始1分までに、聖和高校④青山のドライブと⑤早坂のゴール下のシュートで4点を連取し、16対16の同点となる。聖和高校はフロントコートにディフェンスを1人置き、残りの4人をバックコートに下げる布陣を敷き、センターラインを越えたボールマンにダブルチームをしかける策に出た。このディフェンスに柴田高校が戸惑い、聖和高校が9点差でリードしたところで、柴田高校がタイムアウトを取る。この後は一進一退の攻防により、第2Qを37対31の聖和高校リードで終える。

第3Qは聖和高校がファールに苦しんだ。開始2分でチームファールが3つとなり、その後1分間で5ファールとなる。聖和高校は流れを変えるべくタイムアウトを取るも、柴田高校は⑭を中心に容赦のない攻撃を始め、残り数秒で速攻を決め、45対43と2点差にまで追いつけた。

最終Qが始まった直後、柴田高校⑭中村がゴール下でファールをもらい、フリースローを着実に決めて同点となる。しかしその後、聖和高校⑤早坂の活躍により、6点をもぎ取った時点で柴田高校がタイムアウトを取る。タイムアウトの後、再び聖和高校のファールがかさむ中、柴田高校⑨成田のジャンプシュートで逆転に成功する。この後は両者一歩も譲らず、逆転・再逆転が繰り返される息の詰まるような攻防が展開される。残り44秒で聖和高校が1点リードしたところで、柴田高校がタイムアウトを取るも、痛恨のファールを取られ、最後は聖和高校がボールをキープし、1点差で逃げ切った。最後まで観客を魅了する好ゲームとなった。

文責 【 加藤・相澤 】

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【女子準決勝】
No. B-1	Year Month Day Time 2011年6月26日 9:00
場所 Place	スポカルイン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 山形商業 70 ○	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>9</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	13	1st	8	12	2nd	15	24	3rd	6	21	4th	9	OT			チームB 湯沢翔北 38 ●
13	1st	8															
12	2nd	15															
24	3rd	6															
21	4th	9															
OT																	

主審:Referee
熊谷久美子 (青森)
副審:Umpire
富樫彰子 (宮城)
テーブル・オフィシャル:Table officials
黒石高女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	大沼美琴	CAP	24	0	10	4	1	4	／	伊藤文音		0	0	0	0	0
5	／	小林彩奈		2	0	1	0	0	5	×	佐々木桃子		2	0	1	0	3
6	×	仲野由真		13	0	6	1	2	6	×	小松佳緒里	CAP	2	0	1	0	4
7	×	加藤臨		4	0	2	0	0	7	／	工藤愛里子		0	0	0	0	1
8	×	高橋美緒		11	1	3	2	0	8	×	高橋ゆつき		12	0	5	2	4
9	×	鈴木智美		2	0	0	2	2	9	×	佐藤光		5	1	1	0	5
10	／	黒田陽菜		3	0	1	1	1	10	×	加藤三津子		9	1	3	0	2
11	／	本木麗香		0	0	0	0	0	11	／	関美咲子		8	2	1	0	3
12		佐藤楓		-	-	-	-	0	12	／	稲場紗友里		0	0	0	0	0
13	／	清野真好		0	0	0	0	0	13		鎌田怜実		-	-	-	-	0
14	／	須藤さつき		4	0	2	0	1	14		最上朝香		-	-	-	-	0
15		安彦菜菜		-	-	-	-	0	15		高橋春香		-	-	-	-	0
16		柳元麻里		-	-	-	-	0	16	／	佐藤良奈		0	0	0	0	0
17		野原麻美		-	-	-	-	0	17		大野真湖		-	-	-	-	0
18	／	吉田園佳		7	0	2	3	0	18		高橋忍		-	-	-	-	0
コーチ		吉田佳代							コーチ		樋渡真						
Aコーチ		佐藤知穂							Aコーチ		熊谷伝裕						
合計				70	1	27	13	7	合計				38	4	12	2	22

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

4年ぶり3度目の優勝をねらう山形商業高校と、今年度統合により校名変更した湯沢翔北高校の対戦となった。両チームマンツーマンのスタート。開始早々エンドスローインから山形商業⑥仲野のジャンプシュートからスタート。序盤はお互い様子を見る形の重い展開となった。ジャンプシュートが決まらず、なかなか得点が伸びない山形商業メンバーに対し、高橋監督の「がまんしろ」との指示。その後すぐに④大沼のジャンプシュート、⑥仲野のジャンプシュートが決まり、13対7で第1ピリオドを終了する。第2ピリオド、山形商業スローインでゲーム開始。湯沢翔北のディフェンスが激しくなり、残り7分13秒で山形商業がタイムアウトを請求。その後一進一退の攻防が続く。湯沢翔北⑩加藤が3ポイントを決めれば、山形商業はミスマッチを生かし、インサイドで得点を重ねる。25対23で山形商業2点リードで第2ピリオド終了。湯沢翔北の厳しいディフェンスが光ったピリオドとなった。

第3ピリオド山形商業スローインからゲームスタート。湯沢翔北⑨佐藤のジャンプシュートが決まり、25-25の同点。山形商業のディフェンスが激しくなりゲームが動き出す。山形商業はインサイドでの得点を重ね36対27となった残り6分09秒で湯沢翔北がタイムアウトを請求。湯沢翔北はマンツーマンから1-1-3のゾーンに変えて流れを呼び戻そうとするが、山形商業の激しいディフェンスを崩せず、徐々に点差が離れる。49対29で第3ピリオド終了。山形商業はこのピリオドを6失点に抑えた。第4ピリオド、湯沢翔北はディフェンスをマンツーマンに戻すが、流れを変えることはできない。サイズで上回る山形商業を前にシュートが決まらず、山形商業はリバウンドからの速攻により得点を重ねる展開となる。残り6分付近から徐々にメンバーを入れ替え、ゲーム終盤になっても走り続けた山形商業が70対38で快勝した。